

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	プラムだいすき	公表日	2025年 3月10日
環境・体制整備	チェック項目	はい	いいえ
	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6	
	2 利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6	
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	3	3
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	6	
業務改善	5 必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6	
	6 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	6	
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	3
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6	
	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6	
	12 個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6	
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6	

適切な支援の提供	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6		
	15 子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	1	5	<ul style="list-style-type: none"> ・日々の観察や記録、打合せでの振り返りによって確認している。 ・保護者から提供される発達検査等の分析を参考にしている。 ・個別に見直しながら、その子に合った対応を心掛けている。
	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6		<ul style="list-style-type: none"> ・外部からの情報が必要である。
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6		<ul style="list-style-type: none"> ・職員で話し合って決定している。
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6		<ul style="list-style-type: none"> ・利用している子どもの特性に配慮して、硬直化や偏りが生じないようにしている。 ・外部講師の招聘と活用。 ・リトミック・パステルアート・エアロビック教室などを取り入れたり、複数の公園を利用しての野外活動を取り入れたりしている。 ・長期休業中には、体験的な活動を多く計画し取り入れている。
	19 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6		<ul style="list-style-type: none"> ・個別的な活動と集団的な活動を取り入れている。 ・利用している子どもの特性に配慮して、硬直化や偏りが生じないようにしている。
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5	1	<ul style="list-style-type: none"> ・適切な支援ができるように打合せをもつている。
	21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	2	4	<ul style="list-style-type: none"> ・毎朝、前日の振り返りと当日の打合せ、確認をしている。
	22 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6		<ul style="list-style-type: none"> ・記録は取っている。 ・日々の支援活動にいかに効率的に生かしていくか。
	23 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6		

機 関 や 保 護 者 と の 連 携	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	2	4	・移行支援計画の準備はしている。	・まだ該当者、移行者や卒業生がない。 ・今後、必要になった場合は支援していく必要がある。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	1	5	・研修の機会確保や必要に応じたスーパーバイズはお願いをしている。	・児童発達支援センターと連携していない。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		6	・近隣の複数の公園を利用している。 ・地域の子どもたちと一緒に活動することがある。 ・公共の施設を利用した活動を定期的に行っている。	・地域の他児との交流を図っていない。 ・計画的には行っていない。
	33	(自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか。	3	3	・開催通知があった場合は、積極的に参加させてもらっている。	・出席後の全職員への情報の伝達と共有化が必要である。
	34	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6		・保護者との情報の共有に努めている。 ・個々に連絡帳を利用して当日の様子や予定について情報を共有している。 ・送迎時に保護者との情報の共有に努めている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレン特訓等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	1	4		・ペアレン特訓等は行っていない。 ・家族参加の行事や研修会は行っていない。
保護者 へ の 説 明 等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6			
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6		・利用開始前のアセスメント時に保護者から情報の提供、確認をしている。 ・連絡帳や引き渡しの時に意見交換をお願いしている。 ・支援計画の見直し面談時に確認を行っている。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6		・窓口を設けて、対応している。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		6	・父母の会は設置、開催していない。	・現事業所開設の折にアンケートを取ったところ、設置を望まない保護者がいましたので、そのままにしてきました。 ・開設から満5年経ちました。 ・保護者会設置について、保護者の皆様のご意見を、もう一度、伺ってみようかと思っています。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5		・HPや配付物で発信に努めている。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6			
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		6	・以前、運営していた事業所では積極的に地域の方々を招いて行事、交流会を行った。 ・地域の一部の住民とは交流をもっている。	・地域住民との積極的な交流はしていない。 ・事業所の設置地域によって、住民との関係性は異なる。 ・事業所側から地域への働きかけや出かけていく取組みが必要。

非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5	1		・発生を想定した訓練は、避難訓練のみ行っている。 ・作成した計画や取り組みについて、確認と定期的な見直しをしていく必要がある。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6			・作成した計画や取り組みについて、確認と定期的な見直しをしていく必要がある。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	5	1	・利用開始前のアセスメント時に保護者から情報の提供、確認をしている。 ・変化があった場合は、速やかな情報の提供をお願いしている。	・情報があつた場合には、速やかに情報の共有に努めている。 ・短時間勤務者を含めた全職員への速やかな伝達と対応を含めた情報共有が課題である。
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6		・利用を開始する前のアセスメント時に保護者へ確認をしている。 ・変化があった時には、速やかな情報提供をお願いしている。	・今のところ該当者はいない。 ・該当者がいた場合は、必要な対応をする必要がある。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6		・安全確保に努めている。	・作成した計画や取り組みについて、確認と見直しをしていく必要がある。
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5	1	・安全確保に努めている。	・計画や取り組みについて、家族へ十分に説明をしていく必要がある。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6		・事業所内での共有を図るように報告を促している。	・開設以来、事例は、一件の報告である。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6			
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6			・身体拘束を実施したことは、まだない。 ・保護者へ、どのような場合に実施するかの事前説明を十分に行う必要がある。

事業所における自己評価総括表

公表

○事業所名	プラムだいすき		
○保護者評価実施期間	2025年2月20日 ~ 2025年3月5日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	15	(回答者数) 12
○従業者評価実施期間	2025年2月20日 ~ 2025年3月5日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数)
○事業者向け自己評価表作成日	2025年3月10日		

○分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	<ul style="list-style-type: none"> ・十分なスペースを確保している。 ・十分な部屋数を確保している。 ・利用者の希望に沿って、支援室の利用の仕方は柔軟に対応するようになっていて・常に、子どものこと目を離さないで、見守っている。 ・職員は、常に定数以上に配置している。・使用前、使用後に 		
2	<ul style="list-style-type: none"> ・毎日の打合せや定期的な会議で職員の参画ができるようにしている。 ・記録簿の回覧や伝言板を用いて情報の共有化を図っている。 ・保護者から評価をもらうようにしている。いただいた評価や意見を反映させている。 ・全職員で改善点について話し合い、改善策を出している。・ 		
3	<ul style="list-style-type: none"> ・日々の観察や記録、打合せでの振り返りによって確認している。 ・保護者から提供される発達検査等の分析を参考にしている。 ・個別に見直しながら、その子に合った対応を心掛けている。 ・利用している子どもの特性に配慮して、硬直化や偏りが生じないようにしている。 		

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	<ul style="list-style-type: none"> ・支援室は、表示と名称をつけて利用者に分かりやすいようにしている。 ・ポーチの石段と玄関、階段には、手すりを設置してある。 		<ul style="list-style-type: none"> ・施設設備の限界
2	<ul style="list-style-type: none"> ・近隣の複数の公園を利用している。 ・地域の子どもたちと一緒に活動することがある。 ・公共の施設を利用した活動を定期的に行っている。・地域住民との積極的な交流はしていない。 ・事業所の設置地域によって、住民との関係性は異なる。 ・事業所側から地域への働きかけや出かけていく取組みが必要 		<ul style="list-style-type: none"> ・地域とのかかわり
3	<ul style="list-style-type: none"> ・ペアレントトレーニングは行っていない。 ・家族参加の行事や研修会は行っていない。・現事業所開設の折にアンケートを取ったところ、設置を望まない保護者がいましたので、そのままにしてきました。 ・開設から満5年経ちました。 ・保護者会設置について、保護者の皆様のご意見を、もう一度 		<ul style="list-style-type: none"> ・保護者、家族支援 ・じつはあくにシ化されたものの導入検討

公表 保護者等からの事業所評価の集計結果									
事業所名	プラムだいすき		公表日 2025年3月17日						
			利用児童数 現在 15名				回収数 13		
環境・体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	はい 11	どちらともいえない 2	いいえ	わからない	ご意見 ・最近の活動の様子を見ていないので判断できない。 ・毎回相談などに行くと、十分あると感じています。	ご意見を踏まえた対応 ・来所した折などをとらえて、所内をご案内いたします。	
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。				1		・職員は規準定数以上に確保、配置しています。 ・さらに、より良いサービスの提供ができるように、職員数の増加へ向けて、ハローワークや有料広告会社へ求人の働きかけをしています。 ・良い人がおりましたら、ご紹介ください。	
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているだと思いますか。		9	2	2		・バリアフリー化は、なっていない。 ・玄関に手すりはない。 ・特に必要性を感じていない。	・家庭で過ごす環境を大切にするために一般的な住宅家屋を利用しています。 ・バリアフリー化は不十分です。 ・各部屋に表示や名称をつけて使用目的の明確化や理解の援助を図っています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。		13				・リラックスして過ごせているようなので、良い空間なのだと思います。	・利用開始前、利用終了後に、全室の清掃をして、整理整頓に努めています。 ・新型コロナ流行後から、取っ手や教材等を毎日消毒をしています。 ・子どもたちが集団活動で制作した物を壁面に掲示して、活動環境と発表の場を整えています。
適切な支援の提供	5	子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援を受けられていると思いますか。		13				・毎日の職員打合せや定期のケース会議で、お子さんの実態把握と課題解決へ向けての対応について、検討と情報の共有に努めています。 ・外部での講習なども含め、職員の研修にも努めています。	
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。		13					
	7	子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。		13					
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。		12	1			・毎日の職員打合せや定期ケース会議で、お子さんの実態把握と課題解決へ向けての対応について、検討と情報の共有に努めています。 ・学校やご家庭での様子など、事業所以外での様子について情報をいただけましたら、支援に生かしていきます。	
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。		13					
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。		13					
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会がありますか。		5	3	2	2	・近隣に住んでいる子どもより、利用しているわが子と、時々公園で一緒になり、遊んだと話を聞いたことがあります。 ・地域の他の子どもとの交流は、特になくて良いと思う。 ・機会はない。これからもなしてよい。 ・何とも言えない。 ・必要性を感じていない。	・今後とも公共施設を利用しての活動は取り入れていきたいと考えています。 ・お預かりしているお子さんと外部の子との交流活動を実施する際には、相互に益があるよう慎重に計画をした上で、実施したいと考えています。 ・今のところ、他の学童クラブや児童館との提携、連携は計画していません。
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。		13					
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。		13					

保護者への説明等	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	5	1	4	2	・他機関での研修案内をいただいたことがあります。 ・研修会や情報提供の機会は特に受けていません。	・公共機関等外部からの研修会や行事等の案内があった場合は、増し刷りを配付したり、玄関へ掲示したりしています。 ・情報の提供に努めたいと思います。 ・事業所として積極的な家族支援プログラムを実施してはおりません。 ・ご家族が参加しやすいように、土・日・祝日開催の行事は、事業所職員の勤務の都合から開催は難しいのが実情です。 ・今後とも相談などあった場合は、真摯に対応していきたいと思います。
	15	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができると思っていますか。	13				・連絡帳などで、その都度、状況を共有しています。	・情報の共有に努めます。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	13					
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	13					
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	2	2	5		・あれば参加してみたい。 ・特に希望がないので、このままでよい。 ・父母の会はないが、これからもなじでよい。 ・当該内容について必要性を感じていない。 ・何とも言えません。	・当事業所開設の折にアンケートを取りましたところ、一部の保護者から「かかりたくない」とのご意見がありました。 ・開設後、満5年が過ぎました。 ・この件について、再度、保護者の皆様のご意見を伺ってみようかと思います。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	11	1			・苦情を言ったことがなく、どう対応しているのか分からない。	・窓口があることを発信していきたいと思います。 ・職員の誰へでも良いです。何かありましたらお知らせください。 ・相談や申し入れがあった場合は、真摯に対応していきます。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	12					
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	10	2			・毎回ではありませんが、時々、見ています。子が出ていると、嬉しく、活動の様子も分かる。	・ホームページを一部改定しました。 ・今後も発信に努めます。 ・評価の結果は、配付と掲示、掲載してお知らせします。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	12					
	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	9	1		2	・マニュアルは見ていない。 ・説明されました。 ・マニュアルの策定はされているが、保護者側の対応を年に一回確認してはどうか（熱が37.5℃を超えたたら利用を控えるなど）。 ・何とも言えません。	・ご提案をありがとうございます。 ・個別支援計画の見直しの時などを利用して、お知らせや確認をできればと思います。
非常時等の対応	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	9			3	・定期的かどうかは分からないが、やつたことがあると子どもより聞いた。 ・何とも言えない。 ・分かりません。	・今後も継続して定期的に実施します。 ・連絡帳やHPを利用して、発信にも努めます。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	10			2		・No.24同様、安全確保に努め、周知にも努めます。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	10			2		・No.24,25同様、安全確保に努めます。 ・開所後、今までのところ事案はありません。 ・事故が起きました時には、速やかに適切な対応と連絡をします。
	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	12				・安心しています。	・今後とも、安心、安全な子どもたちの居場所作りに努めます。
満足度	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	12				・毎日、行くのを楽しみにしています。	
	29	事業所の支援に満足していますか。	12				・満足です。 ・感謝しています。	・今後とも、安心、安全な子どもたちの居場所作り、楽しみながらの子どもたちの課題改善に努めます。